

3つのゾーンが一体となった 「家族が集うやすらぎの庭」

この庭園は、家族誰もが自然とふれあい、団欒を楽しめるよう、3つのゾーンで構成され、それが一体となって暮らしを豊かに彩っています。植栽、流れ、園路…。庭園内を歩いてご覧いただき、その雰囲気を実感してください。

あずまや
草屋根の四阿

アーチの手前から庭を見ると、部屋越しからの風景のように見えます。ウッドデッキに出ると3ゾーン全体の庭が見渡せます。

アプローチガーデン

家族や来客を迎え入れるスペース。古材レンガ、板石などを組み合わせ、お洒落な雰囲気を演出しています。足を踏み入れると、正面には落ち着いた佇まいを感じさせる土塀などを見ることができ、一本の青竹から滴る清水が気持ちを和ませてくれます。

コミュニティガーデン

家族が集まり団欒を楽しむスペース。何世代にもわたり親しんできた灯籠、植木、あずまや四阿、土塀などに加えて、デッキやアーチも取り入れ、和風をベースにしながらも、カジュアルでより親しみやすい庭に仕上げました。デッキにテーブルを出して、食事したりホームパーティを開いたり、あずまや四阿の下でハーブティを楽しんだり、年代の異なる家族が共に楽しめる庭になっています。

土塀や園路など園内各所で新しい施工方法を採用。技法面での工夫も凝らしています。

プライベートガーデン

自然とふれあい、朝日と共に土いじりに興じる、そんな暮らしをイメージしたプライベートスペース。陽射しの強い時には、パーゴラの下でせせらぎの音を聞きながらひと休み。彩を添える草花の寄せ植えを楽しんだり、池のメダカを眺めたりして時間を過ごします。さまざまな生物と触れ合うことで、自然からの恵をいっぱい感じる事ができる庭です。

庭づくりのプロが力を合わせて設計施工

庭園の設計は、当連合会の組合員・青年部員等より案を募り、最優秀賞に輝いたデザインを採用しました。また施工は、全国から選ばれた1級造園技能士44名を中心に、庭づくりのプロが力を合わせて取り組みました。

伝統的な造園技法と洋風庭園の技法

日本の伝統的な造園技法の粋を十分に取り入れ、洋風庭園の技法も巧みに組み合わせた現代的な庭園となっています。

リサイクル素材を活用

剪定枝を炭にして、土壌改良や水質浄化に利用しています。また瓦の廃材で作った砂利や古材レンガ等のリサイクル素材をふんだんに使っています。

新しい技法への挑戦

土塀・築地塀、園路など随所で、新しい施工方法を採用しました。技法面での工夫により、丈夫で、見栄えもよく、短期間での施工が可能になりました。

